

「2015 延世大学スプリングスクール参加報告書」

京都大学法学部・1年 (金希玲)

私が今回のプログラムに参加した理由は、自身が在日コリアンとして世界を舞台に活躍していくにあたってまずは母国となる韓国での体験をスタート地点と定めようと思ったからだ。語学留学であったが、韓国語学習経験があっただけに自分の韓国語がどれほど現地で通用するのかということに大きな関心があった。実際に現地に着いてみると驚くことや戸惑うことばかりであった。まず、私が出発前に想像していたのは現地の韓国人の方々、特に同じ世代の大学生との交流であったが、現地での学習は延世大学の語学堂で行われ、そこにいたのは世界各国から韓国語を学びに来た生徒たちで毎日共に過ごしたのは、日本や中国、ロシア、ブラジル、スペインなどから来た人たちであった。授業中はもちろん韓国語のみが聞こえてくるが、休み時間ともなればあちこちで様々な言語が飛び交っていた。また、クラスの友人たちの多くは、母国語と韓国語に加え、英語も自由に話す人たちが多かった。特に日本以外の国の友人たちは三か国語以上の言葉話す人がほとんどだった。私は多少の英語と韓国語、日本語を操れることで語学力に関してそれほどの焦りはなかったが、ブラジル人などの友人たちが英語圏の国の人々と思うままに会話している様子にとっても刺激を受けた。また、様々な国の友人たちとの授業は、それぞれの国の文化を知る機会にもなりその国に対しての興味もわき、韓国に留学して様々な国の人と交流できたことは一石二鳥、いや、三鳥にも四鳥にもなった。

現地の学生との交流は授業とは別の場で行われた。今回は京大の学生ひとりひとりに延世大学の人がサポート役としてつくバディ制度が採用されていたが、私のバディさんは同い年で日本への留学経験もあり、お互いの得意とする分野を教え合い楽しく会話ができた。だが彼女もまた英語を自由に使いこなしており、ここでも自身の英語、特にスピーキングの経験不足を痛感した。

今回の留学を通じて、世界の多くの国では他国の言語を習得する際に英語を話すことは前提とされている場合が多いことを感じた。今でも世界を舞台に活躍したい、様々な国の人々と接しながら生きていきたいという思いは変わっておらず、その実現のためにも今後の英語学習に力をいれようと思い、特に英語圏への語学留学について興味がとても高まった。

プログラム内容に関しては、志望動機のうち宿泊費、授業料免除という条件が大きく、奨学金制度もあり金銭面での不安がそれほどなく留学できたという点でとても良いプログラムであったと感じる。3週間という期間は短いようだが学ぶことはとても多く、街を歩くだけでも、ソウルでは魚はほとんど食べなく肉ばかりであること、日本料理でメジャーなものはトンカツであること、道も日本のようにきれいではないこと、24時間営業であったり深夜営業をしているお店が多いことなど、あちこち見渡せば気づくことはとても多く、この期間の自分はスポンジのように様々なことを吸収できた。派遣先も首都ソウルであり、1日で複数の世界遺産を訪れることもでき、とても良かった。

이번에 처음으로 한국을 찾아 갔으나 여러 사람들 도움을 받으면서 아무 불편 없이 즐겁게 지낼수 있었습니다. 한국에서 지낸 3 주일은 평생 잊을수 없는 추억으로 될겁니다. 일본에서도 계속 공부 잘 하겠습니다. 여러 면에서 도와 주셔서 정말 고맙습니다.